

2017年4月7日放映  
CNN 2013年化学兵器攻撃生存者メッセージ  
「ありがとう、大統領！」  
(2018年4月16日 DIVINE US 公開)

【生存者の男性】眠れなくて目を覚ましたら、携帯にたくさんのメールが来ていました。それからニュースを見て、嬉しくて泣きました。神に感謝しました。なんとというか…感極まりました。私たちは6年以上もの間、助けを求めて来ました。この報いを願い求めて来ました。それが今日、初めてそれが起こったのです。アサドが初めて、一度その報いを受けるのを目にしたのです。彼の犯した非人道的犯罪に対する報いを、一度、初めて彼が受けたのです。私は感極まりました。トランプ大統領に心から感謝しました。アメリカ合衆国に心から感謝しました。誰かが耳を傾けるまで、このことを訴え続けてくれた人、お一人お一人に感謝しました。



【ニュースキャスターの女性】私にも、アメリカの人たちにも、民主、共和、共にあなたがトランプを支持している事は伝わりました。ただ、ここアメリカには、また違う声も上がっています。小さな子どもたちが殺される映像を観て、突き動かされたトランプ大統領は、同時に、難民入国制限でシリアの人たちを入国させないようにしています。それに関してヒラリー・クリントンが問題視していますので、お聴きください。

【ヒラリー・クリントン】シリアの子どもたちを守ると語った同じ口が、次には彼らのアメリカ入国への扉を閉ざしている。



【ニュースキャスターの女性】これについては、いかがですか？

【生存者の男性】失礼ながら、…失礼ながら（トランプ大統領の）入国制限に対してデモを行なっている人たちのお一人お一人、3日前に民間人がガスで惨殺されている時、あなたがたの誰一人として、私は目にしていません。2013年、1,400人の民間人がガスで殺されている時、私は、あなたがたの誰一人として、シリアでのオバマ大統領の行動に対して、声を上げるのを見ていません。あれによって、私たちは難民になったのです！あれによって、私たちはシリアを追い出され、難民となったのです。もしあなたがたが、本気で難民の事を思っているのなら、もしあなたがたが、本気で私たちを助けたいと思っているのなら、どうか、私たちが自分の国に留まれるように助けてください。私たち

はアメリカ合衆国に行きたいのではありません。私たちは自分の国にいたいのです。私たちは自分の国にいたいのです。これは偽善です。もし本気で私たちの事を思っているのなら、私たちが自分の国に留まれるように助けてください。私たちは難民にはなりたくないのです！私たちは自分の国に留まりたいのです。安全地帯を設けられるように助けてください。私たちが自分の国に、安全に留まれるように助けてください。あと少しだけ、言わせてください。もう一度、トランプ大統領にお伝えしたいのです。

大統領、あなたは素晴らしいことをされました！あなたの行為は、シリアの国内外にいる多くの人たちにとって、強烈な希望のメッセージとなりました。どうか、これを止めないでください。どうかシリア人が、シリア国内に留まれるように助けてください。どうか安全地帯を設けてください。どうかアサドの空軍を取り除いてください。彼が従来の武器を使って、これ以上残虐行為が行なえないようにしてください。従来の武器によって、50万人が殺害されました。この6年間、私たちがどれほど苦しんだか、人々に知らせてください。

---